

令和3年度（2021年度）第13回公立大学法人熊本県立大学教育研究会議 議事録

日 時：令和4年（2022年）2月17日（木）10時00分～11時20分

場 所：熊本県立大学

出 席：学長 半藤 英明
副学長 堤 裕昭
事務局長 平井 宏英
文学部長 鈴木 元（リモート参加）
環境共生学部長 石橋 康弘（リモート参加）
総合管理学部長 澤田 道夫（リモート参加）
文学研究科長 虹林 慶（リモート参加）
地域連携政策センター長 丸山 泰（リモート参加）
学術情報メディアセンター長 北原 昭男（リモート参加）
国際教育交流センター長 レイヴィン・リチャード（リモート参加）
株式会社 熊本日日新聞社 調査役 松下 純一郎
熊本県公立高等学校長会長 牛田 卓也

欠 席：学校法人 九州ルーテル学院長 内村 公春

監 事：公認会計士・税理士 河喜多 保典
弁護士 本田 悟士

オブザーバー：環境共生学研究科長 白土 英樹（リモート参加）
アドミニストレーション研究科長 宮園 博光（リモート参加）

事務局：川元事務局次長、丸山総務課長、槇原学生支援課長、佐藤教務入試課入試班長、尾方教務入試課教務班長、塩田教務入試課主事

1 開会

2 学長挨拶

3 議事

審議事項

① 令和4年度入学者選抜における合格者の決定について

1) 私費外国人留学生選抜

事務局教務入試課から、資料1-1に基づき「私費外国人留学生については、各学科若干名の募集に対して、文学部日本語日本文学科に1名、英語英米文学科に1名の志願があり、2月5日に試験を実施し、英語英米文学科1名について可否の判定を行ったので御審議をお願いしたい。」との説明があった。

続いて、文学部長から、資料 1-2 に基づき「当日 1 名の欠席があり辞退され、英語英部文学科のみ実施した。得点表のとおり基準の 6 割を満たすということで合格としたい。」との説明があった。

審議の結果、案のとおり承認した。

2) 大学院文学研究科春季募集

事務局教務入試課から、資料 1-3 に基づき「文学研究科において試験を実施し、研究科委員会で合否の判定を行ったので御審議をお願いしたい。日本語日本文学専攻博士前期課程は、春季募集 3 名に対して外国人留学生特別選抜 3 名の志願が、日本語日本文学専攻博士後期課程は、春季募集 1 名に対して 1 名の志願がっている。御審議をお願いしたい。」との説明があった。

続いて、文学研究科長から、資料 1-4 に基づき「日本語日本文学専攻博士前期課程の 3 名は中国の方。いずれも基準を満たしており合格としたい。外国人留学生としては十分にできている。二人は日本語教育、もう一人は日本の近代文学をやりたいと希望を持っておられる。後期課程受験者は、本学の出身者であり、現在、短期大学の講師をされている方。修士論文、専門科目も出来がよく、口頭試問の点数が低めではあるが総得点で 6 割を上回っている。」との説明があった。

審議の結果、案のとおり承認した。

3) 大学院環境共生学研究科春季募集

事務局教務入試課から、資料 1-5 に基づき「環境共生学研究科において試験を実施し、研究科委員会で合否の判定を行ったので御審議をお願いしたい。環境共生学研究科博士前期課程は、春季募集若干名に対して、一般選抜 4 名、社会人特別選抜 1 名、外国人留学生特別選抜 1 名計 6 名の志願があっている。また、環境共生学研究科博士後期課程は、春季募集 3 名に対して、一般選抜 2 名、外国人留学生特別選抜 1 名の志願があっている。」との説明があった。

続いて、環境共生学研究科長から、資料 1-6 に基づき「博士前期課程の一般選抜の 4 名、社会人特別選抜の 1 名、外国人留学生特別選抜 1 名とも基準を満たしており合格としたい。また、博士後期課程の一般選抜 2 名、外国人留学生特別選抜の 1 名とも基準を満たしており合格としたい。」との説明があった。

審議の結果、案のとおり承認した。

② 令和4年度非常勤講師の採用について

事務局教務入試課から、資料2-1、資料2-2に基づき「令和4年度の非常勤講師の採用について、各学部長、研究科長から推薦があった2名、3科目について御審議いただきたい。予定者は名簿のとおりである。」との説明があった。

審議の結果、案のとおり承認した。

③ 科目等履修生規程及び授業料等に関する規程の一部変更について

事務局教務入試課から、資料3に基づき「初等中等教育の教員のなり手不足の課題解決のため、本学の大学院生が教職に係る学部開講科目を履修するにあたり制度改正を行うもの、また、本学の環境共生学部食健康環境学専攻者が卒業後栄養士免許を取得するため、科目等履修生として履修できるよう規程の一部改正について御審議をお願いしたい。」との説明があった。

審議の結果、案のとおり承認した。

④ 課外活動優秀者等表彰について

事務局学生支援課から、資料4に基づき「1個人、1団体がスポーツダイビングでの優秀な成績とオムニバス長編映画への採用という、いずれも全国規模の競技会等の優秀な成績、また社会的に特に高い評価を受けた場合に当たり、課外活動優秀者表彰規程の基準を満たしている。ついては、同規程に基づき表彰したいので御審議をお願いしたい。」との説明があった。

審議の結果、案のとおり承認した。

⑤ 学部長等の選考並びにキャリアセンター長等の指名について

事務局総務課から、資料5に基づき、「現在の学部長、研究科長、地域・研究連携センター長、デジタルイノベーション推進センター長、国際教育交流センター長及び学科長・専攻長・部門長並びにキャリアセンター長・保健センター長の任期満了等に伴い、令和4年度から文学部長に村尾英語英米文学長を、環境共生学部長に石橋康弘現環境共生学部長を再任、総合管理学部長に澤田道夫現総合管理学部長を再任、共通教育センター長に山田共通教育センター教授、文学研究科長に米谷キャリアセンター長を、環境共生学研究科長に白土英樹現環境共生学研究科長を再任、アドミニストレーション研究科長に小泉和重総合管理学部教授を、図書館長に江崎公共・福祉部門長、地域・研究連携センター長に柴田環境共生学部教授を、デジタルイノベーション推進センター長に飯村情報部門長を、国際教育交流センター長にレイヴィン現国際教育交流セン

ター長を再任、文学部日本語日本文学科長に大島文学部准教授を、英語英米文学科長に吉井文学部教授を、環境共生学部環境資源学専攻長に張現環境資源学専攻長を再任、居住環境学専攻長に高橋現居住環境学専攻長を再任、食健康環境学専攻長に松本直幸環境共生学部教授を、総合管理学部公共・福祉部門長に上拂総合管理学部教授を、ビジネス部門長に望月総合管理学部教授を、情報部門長に宮園アドミニストレーション研究科長を、基礎総合管理部門長に丸山地域連携政策センター長を選考したので、御審議をお願いしたい。」との説明があった。

審議の結果、案のとおり承認した。

また、同時期に任期満了となるキャリアセンター長に丸山現地域連携政策センター長（部門長兼任）を、保健センター長に下田現保健センター長（再任）を指名したとの報告があった。

（２）報告事項

① 令和４年度入学者選抜（一般選抜）の志願状況について

事務局教務入試課から、資料６に基づき「令和４年度一般入試について志願者を取りまとめたので報告する。志願者数は１，９３１名で、前年度から４０名ほど増加、志願倍率は５．５倍。前期日程において前年度から増加、後期日程は減少。学部ごとでは、文学部、環境共生学部においては前期日程、後期日程とも増加傾向であった。総合管理学部が低いという訳ではなく、昨年度がたまたま高い傾向にあった。」と報告があった。

４ その他

次回日程 令和３年度（２０２１年度）第１４回 ３月５日（土）
午前１０時～ ＣＰＤホール

５ 閉会